

連載コラム

>> 過去の連載コラム



世界文化遺産登録

すごいぞ! 富士山

>> パンタナマー

第五回 富士山と富士見坂

日本一の高さを誇る富士山は、理論上300キロメートル以上離れた場所からもその姿を見ることが可能です。実際には気象条件等により見える範囲は限られますが、北限は福島県、南限は和歌山県となっています。

このように広範囲にわたって見えることから、富士山にちなんだ地名は各地にあります。たとえば「富士見」という地名は富士山が見えることに由来しています。

「富士見」は、市町村名や駅名、橋や坂などの名前につけられています。起伏に富んだ地形の東京では、坂の名前として多く存在しています。今回は、東京と港区の「富士見坂」について紹介します。

東京富士見坂

2005年に国土交通省 関東地方整備局が、富士山への良好な眺望を得られる地点に対し、周辺の景観の保全や活用への支援を通じ、美しい地域づくりを推進することを目的として「関東の富士見百景」を選定しました。

このひとつに「東京富士見坂」があります。

この東京富士見坂は、1つの坂のことではなく、都内の7地点（目黒駅周辺、青葉台地区、大岡山地区、田園調布周辺、瀬田・岡本地区、善福寺地区、日暮里富士見坂）の総称です。

ただし、これらの地点から現在、富士山が見えることはないと言われています。



港区の富士見坂

港区は、23区の中でも特に坂が多く、その数は80を超えています。

港区の富士見坂には、芝公園の「富士見坂」と南麻布の「新富士見坂」があります。

さらに名前に「富士見」はありませんが、南麻布の「青木坂」や西麻布の「大横丁坂」も富士見坂とされています。これらの坂からもかつては富士山が見えたそうですが、残念ながら現在はビルなどにさえぎられて見ることはできません。



新富士見坂

港区の富士見スポット



お台場海浜公園より2013年11月撮影（中央左に富士山の頭が見えます）

都内全体でも、地上から富士山が見えるところは少なくなってきていますが、お台場海浜公園は、港区内で富士山が見える数少ない場所のひとつです。

今度の休日にお台場へ出かけてみるのはいかがでしょうか。

天気がよければ、富士山をながめることができるかもしれません。

参考資料：『富士山展望百科』田代 博 監修・山と地図のフォーラム 編/実業之日本社、
国土交通省 関東地方整備局ホームページ (<http://www.ktr.mlit.go.jp/index.htm>)

[▲このページのトップへ](#)

| [サイトマップ](#) | [みなさんの声](#) | [Kissポート財団について](#) | [情報誌「Kissポート」について](#) | [品質・環境への取り組み](#) | [個人情報保護について](#)[PDF] |

Kissポート財団 

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぷらざ

電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。